企業集団等の概況（平成15年3月31日現在）

企業集団の事業の内容

当行グループ（当行及び当行の関係会社）は、当行及び子会社10社で構成され、銀行業務を中心に金融サービスに係る事業を行っております。

なお、当連結会計年度において、前連結会計年度末現在、連結子会社であった株式会社西日本総合リースの株式100%を譲渡し、連結対象外となったことに伴い、リース業務は当行グループの事業外となりました。

また、西日本信用保証株式会社は、平成15年3月28日をもって西銀カード株式会社の子会社となりました。

なお、西銀カード株式会社は、平成15年4月1日をもって西銀ジェーシービーカード株式会社を吸収合併いたしました。

企業集団の事業系統図

西日本銀行
- 銀行業務 …本店ほか国内支店155か店、出張所13か店、代理店3か所、海外駐在員事務所3か所
- その他の業務 …連結子会社10社　（株）西銀ビジネスセンター
  西銀オフィスサービス（株）
  西銀モーゲージサービス（株）
  Nishi-Nippon Finance（Cayman）Limited
  西銀カード（株）
  西日本信用保証（株）
  西銀コンピューターサービス（株）
  （株）西銀経営情報サービス
  西銀ジェーシービーカード（株）
  Nishi-Nippon Preferred Capital（Cayman）Limited

子会社・関連会社

（1）連結子会社

会社名	所在地 設立年月日	資本金	業務内容	出資比率（単位%）	
				銀行	子会社等
株式会社西銀ビジネスセンター	福岡市早良区百道浜1-7-6 昭和56年9月1日	20百万円	事務受託業務	100	—
西銀オフィスサービス株式会社	福岡市博多区博多駅前1-3-6 昭和63年4月5日	20百万円	人材派遣業務	100	—
西銀モーゲージサービス株式会社	福岡市博多区博多駅前1-3-6 平成6年10月3日	50百万円	担保不動産調査・評価業務	100	—
Nishi-Nippon Finance(Cayman)Limited	P. O. Box 309 Ugland House South Church Street ,George Town,Grand Cayman,Cayman Islands. British West Indise. 平成8年2月21日	10千ドル	投融資業務	100	—
西銀カード株式会社（※）	福岡市博多区下川端町2-1 昭和58年8月2日	50百万円	クレジットカード業務、信用保証業務	32.2	12.8
西日本信用保証株式会社	福岡市博多区下川端町2-1 昭和59年4月24日	50百万円	信用保証業務	1	53
西銀コンピューターサービス株式会社	福岡市早良区百道浜1-7-6 昭和60年1月26日	50百万円	情報処理・計算受託業務	5	48
株式会社西銀経営情報サービス	福岡市博多区下川端町2-1 昭和61年12月5日	20百万円	コンサルティング、企画診断、各種研修、出版業務ベンチャーキャピタル業務	5	35
西銀ジェーシービーカード株式会社（※）	福岡市博多区下川端町2-1 平成元年7月5日	50百万円	クレジットカード業務、信用保証業務	5	50
Nishi-Nippon Preferred Capital(Cayman)Limited（※※）	P. O. Box 309 Ugland House South Church Street ,George Town,Grand Cayman,Cayman Islands. British West Indise. 平成14年2月12日	21,800百万円	投融資業務	4.5	—

1.※　西銀カード株式会社は、平成15年4月1日をもって西銀ジェーシービーカード株式会社を吸収合併いたしました。

2.※※Nishi-Nippon Preferred Capital(Cayman)Limitedへの出資状況はつぎのとおりであります。
　議決権付普通株式　　1,000百万円（当行出資比率100%）
　議決権のない優先株式　20,800百万円（当行出資比率　－%）

企業集団等の状況

企業集団の業績

平成14年連結会計年度（平成14年4月1日～平成15年3月31日）における営業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、上期において輸出の増加や生産の持ち直しにより緩やかな回復の兆しが見られましたが、中盤以降、世界経済の先行き不透明感が強まったことなどから、設備投資、個人消費共に低水準にとどまり、株式市況はかつてない低迷を続けるなど、依然として厳しい状況のまま推移しました。

この間、金融界においては、ペイオフ凍結全面解除の延期が決定され、主要行の不良債権問題の抜本的解決をはかるための「金融再生プログラム」が公表されるなど、より強固な金融システムの構築を目指した諸施策が打ち出されました。

このような金融経済環境のなか、当連結会計年度の業績は次のようになりました。

主要勘定の期末残高につきましては、預金は市場性預金の減少等もあり、期中286億円減少し3兆4,847億円となりました。また、貸出金は資金需要の低迷に加え、不良債権の償却及び売却等のオフバランス化を積極的に進めたことにより、期中1,242億円減少し2兆8,783億円となりました。なお、総資産は期中2,448億円減少し3兆9,690億円となりました。

損益状況につきましては、経常収益は前年度比191億18百万円減少し1,171億97百万円となりました。一方、経常費用は前年度比1,118億86百万円の大幅減少となりましたが、期末株価の下落による有価証券の減損処理拡大や合併に向けた財務体質強化の観点からの繰延税金資産の圧縮等を主因として1,234億61百万円となりました。この結果、経常損益は前年度比927億68百万円改善し62億63百万円の経常損失、当期純損益は76億35百万円の当期純損失となりました。

また、国内基準による連結自己資本比率は8.43%となりました。

最近5連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移

（単位:百万円、%）

種類＼連結会計年度	平成10年度（平成10年4月1日～11年3月31日）	平成11年度（平成11年4月1日～12年3月31日）	平成12年度（平成12年4月1日～13年3月31日）	平成13年度（平成13年4月1日～14年3月31日）	平成14年度（平成14年4月1日～15年3月31日）
連結経常収益	173,922	160,198	142,850	136,315	117,197
連結経常利益（△は連結経常損失）	1,263	7,335	△40,736	△99,031	△6,263
連結当期純利益（△は連結当期純損失）	626	3,505	△32,947	△56,963	△7,635
連結純資産額	218,652	219,816	190,939	124,721	118,436
連結総資産額	4,694,973	4,533,402	4,622,902	4,213,929	3,969,065
連結自己資本比率（国際統一基準）	9.60	10.68	9.67	―	―
連結自己資本比率（国内基準）	―	―	―	8.58	8.43

（注）1.平成10年度の連結財務諸表における子会社・関連会社の範囲及び税効果会計につきましては、それぞれ「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則の一部を改正する省令」（平成10年大蔵省令第136号）附則第2項及び「財務諸表等の用語、様式及び作成に関する規則等の一部を改正する省令」（平成10年大蔵省令第173号）附則第3項に基づき、これらの省令により改正された連結財務諸表規則を適用しております。

2.連結自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく大蔵省告示に定められた算式に基づき算出しております。なお、当行は平成13年度より国内基準を適用しております。

連結リスク管理債権額

（単位:百万円）

種類＼連結会計年度	前連結会計年度（平成14年3月31日）	当連結会計年度（平成15年3月31日）
破綻先債権額	44,175	41,573
延滞債権額	159,418	163,885
3か月以上延滞債権額	519	279
貸出条件緩和債権額	90,664	74,917

（注）1.債権額は、貸出金のほか求償債権、カード債権を含めて記載しております。

2.債権額は、西日本銀行及び下記連結子会社10社の連結ベースで記載しております。

・株式会社西銀ビジネスセンター　・西銀オフィスサービス株式会社　・西銀モーゲージサービス株式会社　・Nishi-Nippon Finance（Cayman）Limited
・Nishi-Nippon Preferred Capital（Cayman）Limited　・株式会社西銀経営情報サービス　・西銀コンピューターサービス株式会社
・西銀ジェーシービーカード株式会社　・西銀カード株式会社　・西日本信用保証株式会社